

“高次脳機能障害当事者の視点で、支援のあり方を問う”

高次脳機能障害支援をめぐる公開講座 第三弾<無料>

日時: 2024年 5月 26日(日) 14:00-15:30

紀伊國屋書店新宿本店<アカデミック・ラウンジ>

オンライン配信(多くの参加をお待ちしています!)/対面参加(円卓のため定員15名)

『不自由な脳は続く—高次脳機能障害に対する支援再考—』

(金剛出版/約250頁/5月中旬刊行)

出版記念トークショー

「鈴木大介×山口加代子×小川喜道」

(ルポライター、高次脳機能障害当事者)×(公認心理師・臨床心理士)×(神奈川工科大学名誉教授)

鈴木 大介 (すずき だいすけ)

子どもや女性、若者の貧困問題をテーマにした取材による「最貧困女子」(幻冬舎)などを代表作とするルポライター。2015年に脳梗塞を発症して高次脳機能障害当事者となる。自身の闘病記「脳が壊れた」「脳は回復する」(いずれも新潮社)等を出版。支援職への指南書「『脳コワ』さん支援ガイド」(医学書院)で2020 日本医学ジャーナリスト協会賞大賞受賞。



山口 加代子 (やまぐち かよこ)

公認心理師・臨床心理士
横浜市総合リハビリテーションセンターで高次脳機能障害当事者と家族の支援に携わる。「脳の働きに障害を持つ人の理解と支援」「病気のひとのこころ」(いずれも日本心理学会編、誠信書房)などの著書がある。リハビリテーション心理職会および日本高次脳機能障害友の会顧問。



二人の共著『不自由な脳』(金剛出版)の続編『不自由な脳は続く』の発刊を機にトークショーを開催します。皆様の参加をお待ちしています!!

インタビュアー: 小川 喜道(おがわ よしみち)

神奈川工科大学名誉教授。神奈川県総合リハビリテーションセンターにてさまざまな障害ある人たちの社会復帰に関わる。日本脳外傷友の会の2000年発足からの“裏方”。『よくわかる障害学』(ミネルヴァ書房)他、イギリスの障害者福祉に関する著作。2001年から神奈川県高次脳機能障害支援モデル事業連絡調整委員会委員、同支援システム委員会委員長、神奈川県障害者施策審議会会長などを務めた。



■参加(オンラインまたは対面)の申し込みは、下記のURLまたはQRコードよりお願い致します。

<https://forms.office.com/r/1JzHS42mQQ>

(対面参加は先着15名の方となり、超過した場合はオンライン視聴をお願いする連絡を致します。申込者全員へのオンラインURL等は5月20日頃に送付)

○主催・お問い合わせ: 神奈川工科大学 地域連携・貢献センター

046-291-3212, yoshimichi.ogawa@kait.jp (小川)

高次脳機能障害支援をめぐる公開講座 第三弾「高次脳機能障害当事者の視点で、支援のあり方を問う」申込フ

